

レオブリッツ500メガツイン

道糸入力方法「指定入力編」

指定入力とは当社棚センサーブライトを巻くとき、データをインプットするだけで道糸入力できる便利な方法です。ただし、下記の場合のみ可能です。

・下巻きをしない場合 ・次ページの表に記載されている号数および巻き糸量の場合

1. 道糸をレベルウィンドに通してスプールに結んでください。

※付属の糸通しピンを使うとかんたんに通せます。
※スプール面での糸滑り防止のため、必ず糸止めピンに糸を結んでください。

2. パワーレバーをOFFまで戻します。

3. リールを通电させ、パワーレバーをMAXの位置まで倒し最後まで道糸を巻いてください。

※接続方法についてはP.8電源とのつなぎ方を参照ください。

※道糸は約1kgのテンションで巻いてください。

※糸を巻き込まないように注意してください。

※フィンガーガードに糸があたると、リールが傷つくことがあります。糸があたらぬようご注意ください。

4. 表示が **0.0** のときに **モード** スイッチを5秒間押し続けてください。

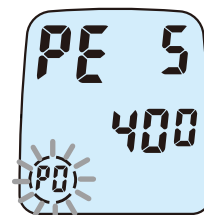
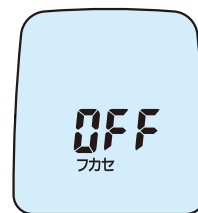
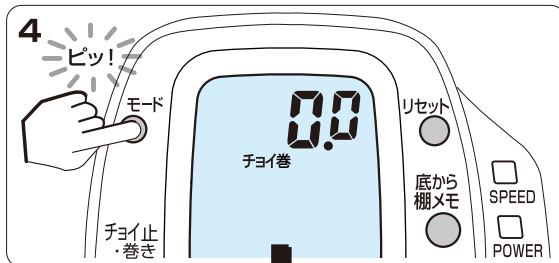
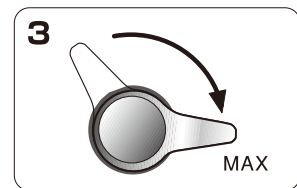
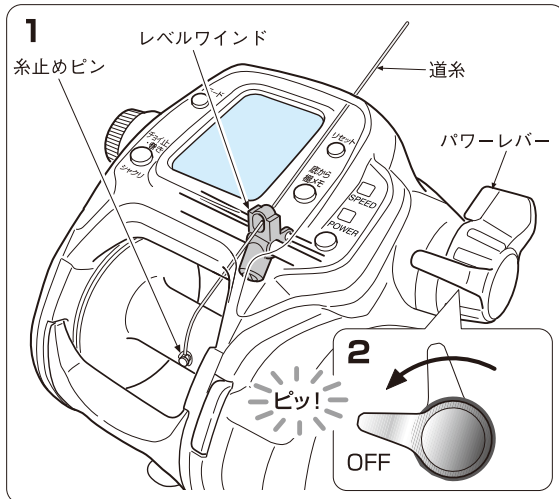
※2秒でフカセ画面になりますが、そのまま押し続けてください。


5. 初期設定PE5号-400mの画面になります。

PO が点滅します。

6. パワーレバーで、数値をセットし、**モード** スイッチを押せば完了です。

(**0.0** に戻ります。)





PE（左上の表示がPEの場合）(m)				フロロ（左上の表示がLの場合）(m)	
4号		400	500	6号	300
5号	300	400		6号	350
6号	200	300		7号	300

※レオブリッツ500MTには、あらかじめタナセンサーブライツ5号-400mのデータが入力されています。タナセンサーブライツ5号-400m巻く場合は、データのインプットは不要です。

道糸入力方法「リールに巻く糸の長さがわかる編」

リールに巻く糸の長さがわかっている時に便利な方法です。
(PE6号300mを巻いて入力することを例にしてご説明します。)

1. 道糸をレベルwindに通してスプールに結んでください。

※付属の糸通しピンを使うとかんたんに通せます。
※スプール面での糸滑り防止のため、必ず糸止めピンに糸を結んでください。

2. パワーレバーを手前に戻します。

3. リールを通电させ表示が **0.0** のときに **モード** スイッチを5秒間押し続けてください。

※表示が **0.0** でない場合は、入力画面になりませんので、その場合は **リセット** スイッチを押して、表示を **0.0** にしてください。

※2秒でフカセ画面になりますが、そのまま押し続けてください。

右下図のような表示に変わり **P0** が点滅します。

4. **モード** スイッチを押して糸長入力画面にしてください。

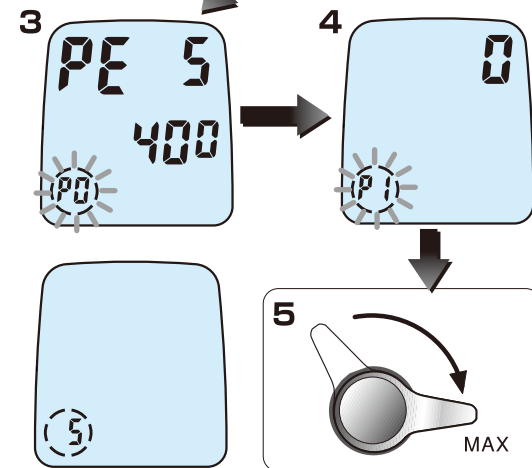
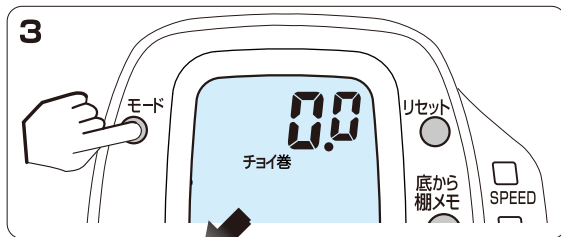
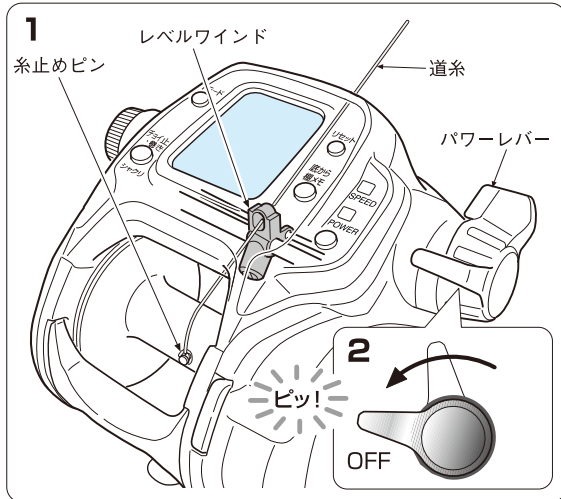
P1 が点滅します。

※ドラッグがゆるんでいると糸が巻けませんので、しっかりとドラッグを締め込んでください。

5. パワーレバーをMAXの位置まで倒して道糸を巻きます。

※安全のため、パワーレンジでスタートします。
(変速は可能です)

パワーレバーを倒すと **P1** (画面左下の数字) がテンション表示に変わり上のカウンターの数値が上がります。
パネル左下の数字がパワーレンジでは4~5、スピードレンジでは6~8になるようにテンションを調整して巻いてください。



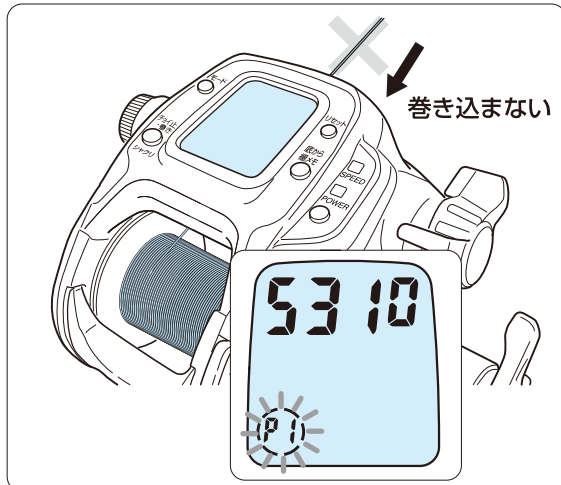
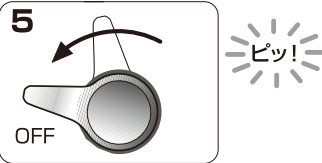
- ・フィンガーガードに糸があたると、リールが傷つくことがあります。糸があたらないようにご注意ください。
- ・屋内で低速・高テンションで長時間(10分以上)かけて糸を巻くと、モーターが異常に過熱し故障の原因になりますので、電動での巻上げを自動で停止します。できるだけ速いスピードで入力を行ってください。また、実釣時には海水等で冷却されますのでご心配ございません。

(※1) 10分間連続で糸を巻くと、モーター過熱防止機能が働き、モーターが停止し、画面表示が点滅、5分間全ての操作ができなくなります。コマセタイマー部に4→3→2→1→0(分)とカウントダウンし、「ピー」と鳴ったら停止前の状態から入力可能です。

6. 巻き終わったらレバーをOFF位置まで戻します。(アラーム音)

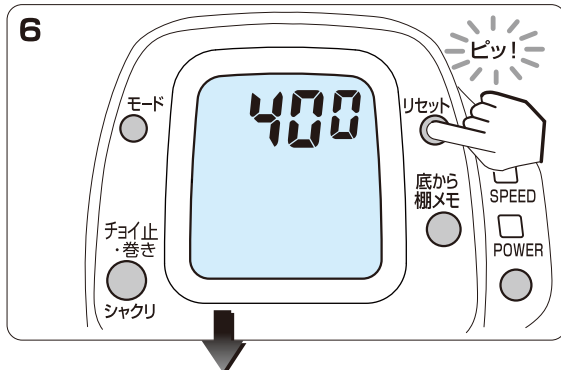


・糸の端を全部巻き込まないようにしてください。手前でパワーレバーをOFFの位置にし、ハンドルで巻いてください。巻き込みますとカウンター誤差の原因になります。



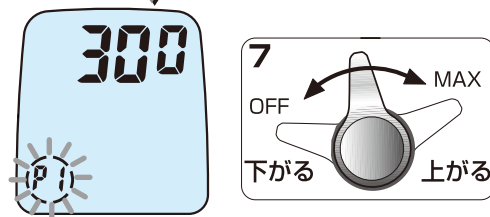
7. **リセット** スイッチを2秒以上、表示が **400** になるまで押してください。

(400は初期値です。)



8. パワーレバーで、道糸の長さをセットします。

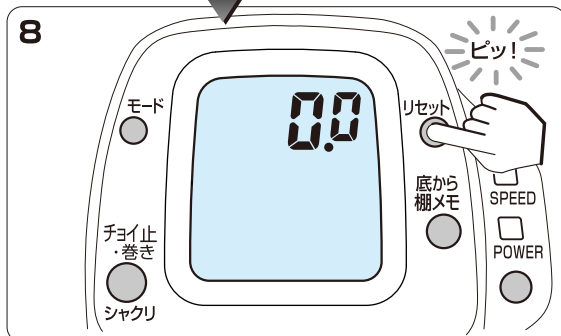
(図は、300m入力した場合です。)



9. **リセット** スイッチを2秒以上押してください。

アラーム音が鳴り、表示が **0.0** になれば完了です。

※ **Err** になった場合は、**モード** スイッチを押して始めから再度入力をしてください。又は引出し入力 (P22,23参照) をしてください。



道糸入力方法「下巻き入力」

ただし長さのわかる道糸が100m以上必要です。

1. 下巻をレベルワインドに通してスプールに結び、通電させてください。

※付属の糸通しピンを使うとかんたんに通せます。
※スプール面での糸滑り防止のため、必ず糸止めピンに糸を結んでください。

2. 下巻用の糸を巻きます。

※パワーレバーがOFFの位置にない場合は、一度OFF位置(手前)に戻してから出力してください。

3. 上糸をしっかり結びます。

4. 表示が **0.0** のときに **モード** スイッチを5秒間押し続けてください。

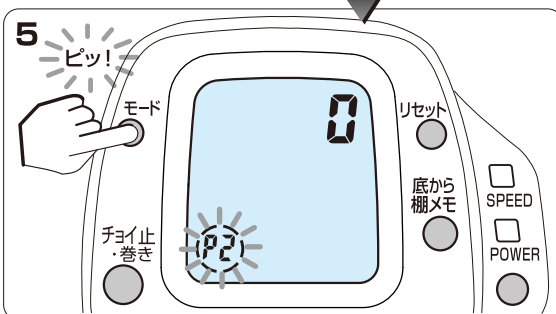
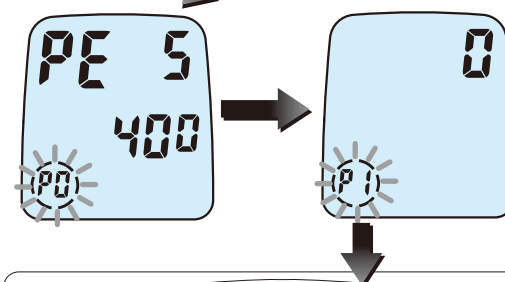
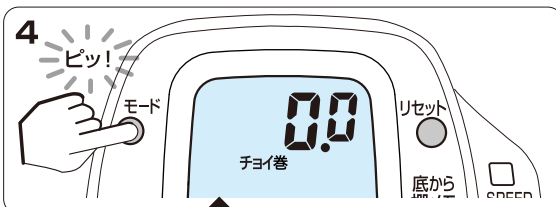
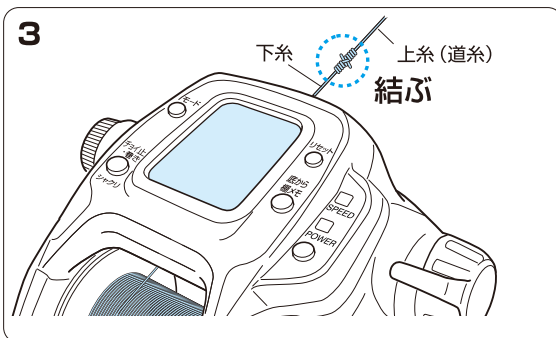
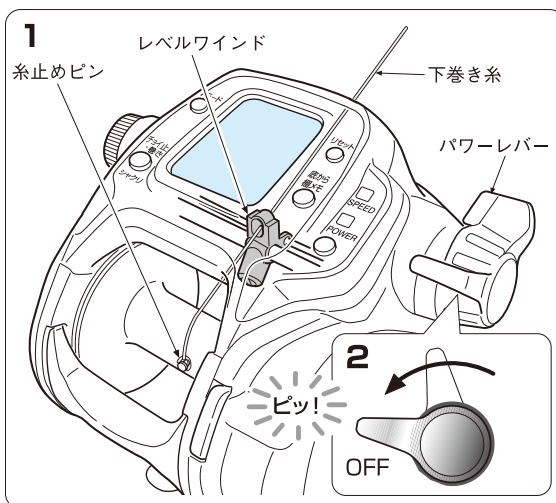
※表示が **0.0** でない場合は、入力画面になりますので、その場合は **リセット** スイッチを押して、表示を **0.0** にしてください。

※2秒でフカセ画面になりますが、そのまま押し続けてください。

P0 が点滅します。

5. **モード** スイッチを2回押して下巻き入力画面にしてください。

P2 が点滅します。

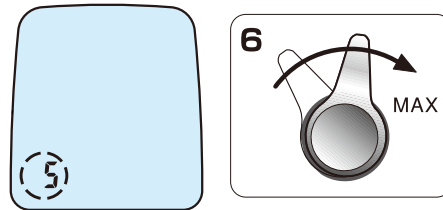


6. テンションをかけて残り100mになるまで道糸を巻いてください。

パワーレバーを倒すと **P2** (画面左下の数字) がテンション表示に変わり上のカウンターの数値が上がります。

※安全のためパワーレンジでスタートします。
(変速は可能です。)

パネル左下の数字が4~5になるようにテンションを調整してください。



- ・フィンガーガードに糸があたると、リールが傷つくことがあります。糸があたらないようにご注意ください。
 - ・屋内で低速・高テンションで長時間(10分以上)かけて糸を巻くと、モーターが異常に過熱し故障の原因になりますので、電動での巻上げを自動で停止します。できるだけ速いスピードで入力を行ってください。また、実釣時には海水等で冷却されますのでご心配ございません。
- (※1) 10分間連続で糸を巻くと、モーター過熱防止機能が働き、モーターが停止し、画面表示が点滅、5分間全ての操作ができなくなります。コマセタイマー部に4→3→2→1→0(分)とカウントダウンし、「ピー」と鳴ったら停止前の状態から入力可能です。

7. **リセット** スイッチを2秒以上押してください。

P2 が点滅し、下のカウンターが **50** になります。上のカウンターの数値は糸を巻くと増えていきます。

8. テンションをかけて糸色に注意しながら50mを巻いてください。

9. **リセット** スイッチを2秒以上押してください。

下の数字が **100** になります。

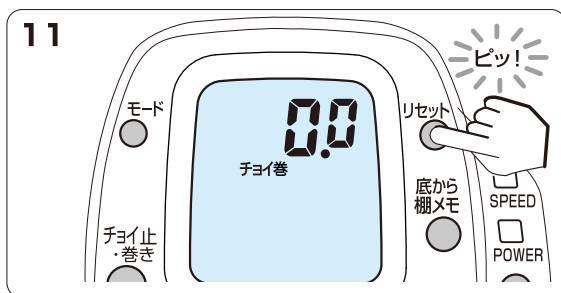
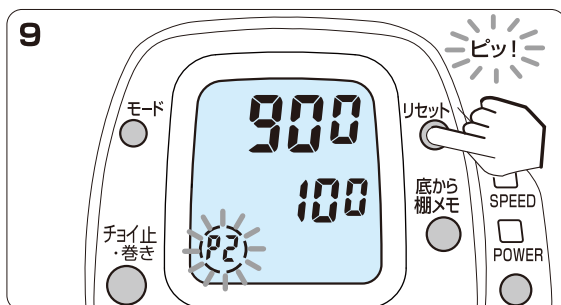
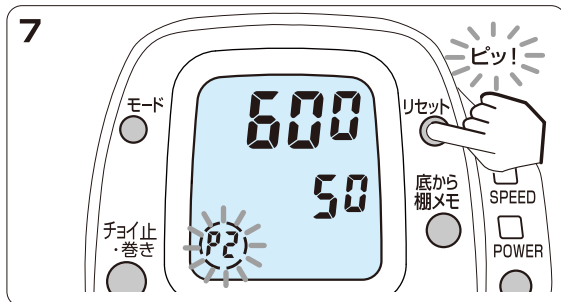
10. テンションをかけて糸色に注意しながら残りの50mを巻いてください。

11. **リセット** スイッチを2秒以上押して表示が **0.0** mになり完了です。



- ・糸を全部巻き込まないようにしてください。手前でパワーレバーをMINの位置にし、ハンドルで巻いてください。巻き込みますとカウンター誤差の原因にもなります。

※ **Err** になった場合は、**モード** スイッチを押して始めから再度入力、又は引出し入力(P22,23参照)をしてください。



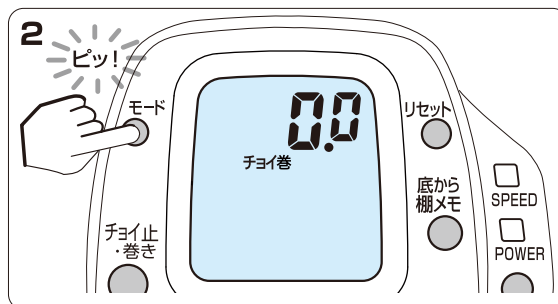
道糸入力方法「引出し入力」

道糸を巻き終わった状態から再入力するための方法です。ただし長さのわかる道糸が100m以上必要です。

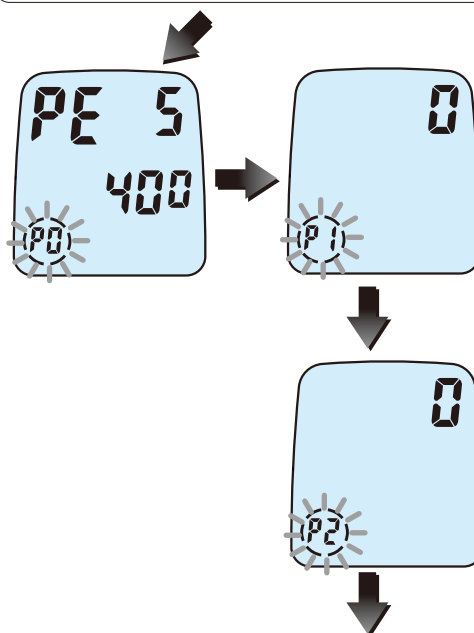
1. 通电させてください。

2. **モード** スイッチを5秒以上押して **P0** モードにします。

※2秒でフカセ画面になりますが、そのまま押し続けてください。



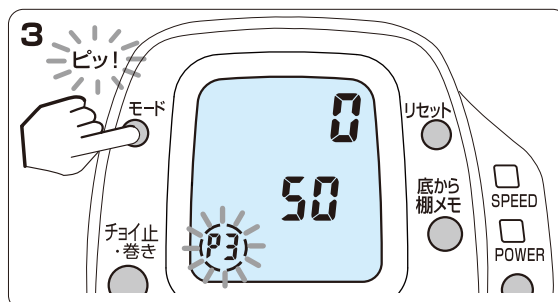
※表示が **0.0** でない場合は、入力画面になりませんので、その場合は **リセット** スイッチを押して表示を **0.0** にしてください。



3. さらに **モード** スイッチを3回押して、引出し入力画面にしてください。

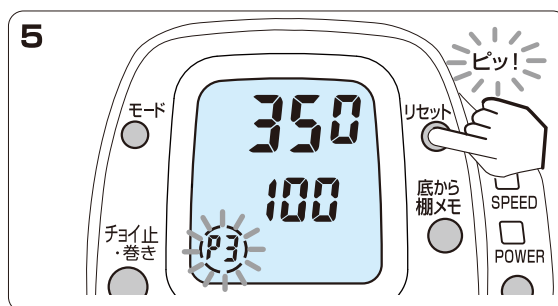
P3 が点滅します。

4. 糸のマークに注意しながら、50m引き出します。



5. **リセット** スイッチを2秒以上押してください。

下の数字が **100** になります。

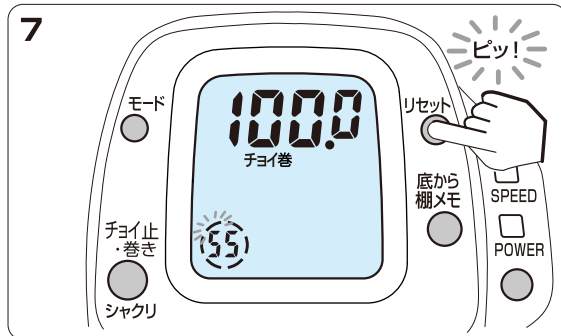


6. さらに糸のマークに注意しながら50m
引き出してください。

7. **リセット** スイッチを2秒以上押して
表示が **100.0** mになります。

※コマセタイマーがスタートします。

8. 引き出した糸を100m巻き取り完了です。



- ・糸を全部巻き込まないようにしてください。手前でパワーレバーをMINの位置にし、ハンドルで巻いてください。巻き込みますとカウンター誤差の原因にもなります。
- ・この入力方法で入力した場合は100mを超える範囲では、糸長を表示しない場合があります。

※ **Err** になった場合は、**モード** スイッチを押して
始めから再度入力をしてください。